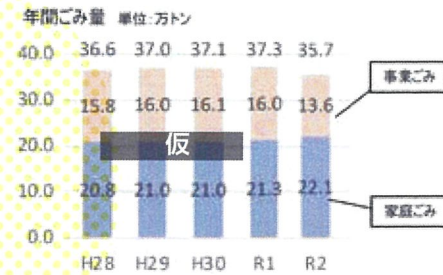


# 広島市のごみについて

広島市では、大量に生産し大量に消費する生活スタイルが広がった昭和60年頃からごみ量が急増を続け、平成12年度には年間のごみ量がピークの49.0万トンに達しました。このため、市民、事業者の皆さまと一緒に、ごみの減量・リサイクルに取り組んだ結果、ごみ量は平成22年度にかけて減少していきましました。

しかしながら、近年のごみ量は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度を除いて、少しずつ増加しています。令和2年度のごみ量は約35.7万トンで、1日当たりに換算すると約978トン。これは、およそ半月でマツダスタジアムがいっぱいになる量です。

近年のごみ量は  
令和2年度を除いて  
少しずつ増加している！



令和2年度のごみ処理費用は約140億円。1日当たり約**3,800**万円もの税金が使われている計算なんだ

食品ロス<sup>※1</sup>や  
リサイクル可能な紙類が  
可燃ごみの中に多く含まれている！

- 食品ロス<sup>※1</sup>が、家庭系可燃ごみの中に約7%<sup>※2</sup>、事業系可燃ごみの中に約11%<sup>※2</sup>含まれていました。
- リサイクル可能な紙類が、家庭系可燃ごみ、事業系可燃ごみのどちらにも約10%<sup>※2</sup>含まれていました。

※1 食べ残しや期限が過ぎたなどの理由で、まだ食べられるのに捨てられた食品のこと。  
※2 数値(%)は令和2年度調査による。

他にもこんな課題が！

- 陸地や川などから海へ流れ出たプラスチックごみによる海の汚染や生物への影響が世界中で問題になっています。
- 超高齢社会がさらに進むことで、ごみの分別やごみ出しが難しくなる高齢者が増えることが考えられます。



花ちゃん一家  
「3R」に取り組み始めた  
広島市に住む3人(と1匹)家族

これらのごみ問題に対応するため、広島市ではごみ処理に関する総合的な取組を進めて、『ゼロエミッションシティ広島』の実現を目指しています！



広島市の美化・減量化マスコット「あらら」

# 『ゼロエミッションシティ広島』とは？

ごみの発生をゼロに近づけ、どうしても出てくるごみのうち利用できるものはリユース・リサイクルし、利用できないごみはきちんと分別して処分をする、環境にやさしく美しい都市のことで。

「市民」、「事業者」、「行政」が協力あって、ごみの減量・リサイクルにさらに取り組むことで、『ゼロエミッションシティ広島』が実現し、『持続可能な開発目標 (SDGs)』<sup>※</sup>にある17の目標のうち9つの目標達成にもつながります。

※ 平成27年9月の国連持続可能な開発サミットにおいて採択された世界共通の目標



## 広島市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(平成27年度～令和6年度)における ごみの減量目標

目標その1  
排出量を  
約**10%**削減！  
  
令和6年度目標-**33.7**万トン  
(平成25年度実績-37.2万トン)

目標その2  
焼却量を  
約**6%**削減！  
  
令和6年度目標-**28.5**万トン  
(平成25年度実績-30.4万トン)

目標その3  
埋立量を  
約**30%**削減！  
  
令和6年度目標-**4.0**万トン  
(平成25年度実績-5.6万トン)

1人1日、  
おにぎり1個分の  
ごみを減らしましょう！



おにぎり1個  
(約110g)なら  
私にもできそう！